



2021年11月12日

各 位

会 社 名 オカダアイオン株式会社
代表社名 代表取締役社長 岡田 祐司
(コード番号 6294 東証第1部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 前西 信男
T E L (06)6576-1281 (代表)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出しました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成し提出いたしましたので、お知らせいたします。

記

<当社の上場維持基準の適合状況および計画期間>

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。当社は、「流通株式時価総額」について、2024年3月期末までを計画期間と定め、上場維持基準を充たすために各種取組みを進めてまいります。

| | 流通株式数 | 流通株式時価総額 | 流通株式比率 | 売買代金 |
|--------------------|-----------|------------|--------|--------|
| 当社の状況 (移行基準日時点) | 60,807 単位 | 7,594 百万円 | 72.5% | 28 百万円 |
| 上場維持基準 | 20,000 単位 | 10,000 百万円 | 35.0% | 20 百万円 |
| 計画書に記載の項目 | | ○ | | |

※上記の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

※上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容については添付資料をご参照ください。

以 上

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

2021年11月12日



オカダアイオン株式会社

目 次

| | |
|-----------------------------|---------|
| 1. 新市場区分の上場維持基準適合状況 | P 2 |
| 2. 流通株式時価総額増大に向けた基本方針 | P 3～4 |
| 3. 中期経営計画の計画数値見直し | P 5 |
| 4. 当期純利益実額の増大 | P 6 |
| 5. 投下資本の生産性向上 | P 7～8 |
| 6. 累進的且つ機動的な株主還元の実施 | P 9 |
| 7. I Rと情報開示の充実 | P 10 |
| （参考1）成長投資とキャッシュフロー | P 11 |
| （参考2）中長期経営計画の骨子 | P 12～13 |
| （参考3）参考情報 | P 14 |

1. 新市場区分の上場維持基準適合状況

(1) プライム市場適合状況 (2021/7/9付 東証1次判定)

2

| | 上場維持基準 | 当社数値 | 計画書に記載の項目 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 流通株式数 | 20,000 単位 | 60,807 単位 | |
| 流通株式時価総額 | 100.0 億円 | 75.9 億円 | ○ |
| 流通株式比率 | 35.0 % | 72.5 % | |
| 売買代金 (1日平均) | 20.0 百万円 | 28.1 百万円 | |

(2) 修正後の流通株式数、流通株式比率と流通株式時価総額

流通株式数、流通株式比率、流通株式時価総額に関して、以後、本計画書では以下の実態を考慮し修正後の数値を基準とします。(株価は東証1次判定時の株価 1248.9円を適用。)

- (1) 2021年9月30日現在の株式統計表に基づいて再試算。
- (2) 役員以外の特別利害関係者等の持ち分を考慮。

| | 修正前 | 修正後 | 計画書に記載の項目 |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 流通株式数 | 60,807 単位 | 57,168 単位 | |
| 流通株式時価総額 | 75.9 億円 | 71.3 億円 | ○ |
| 流通株式比率 | 72.5 % | 68.2 % | |

(1) 基本方針

プライム市場上場維持基準を満たすための計画期間を、「**中期経営計画 ローリングプラン FY2021～FY2023**」の最終年度となる「**2024年3月期末**」とし、流通株式時価総額の増大に向けて、**4つの重点課題**の実現により企業価値向上を図ってまいります。

(2) 4つの重点課題

① 当期純利益実額の増大 (P 6)

中期経営計画の達成により、「**当期純利益実額の増大**」を図ります。

② 投下資本の生産性向上 (P 7～8)

中期経営計画の達成により、「**投下資本の生産性向上**」を図ります。

③ 累進的且つ機動的な株主還元の実施 (P 9)

安定成長に基づいた「**累進的配当方針**」を基本的な還元方針とするとともに、株価の推移や利益・投資計画の進捗状況を考慮しながら、「**機動的な株主還元**」を図ります。

④ I Rと情報開示の充実 (P 10)

株主様と投資家様の投資判断に資するよう「**I Rと情報開示の充実**」を図ります。

2. 流通株式時価総額増大に向けた基本方針

(3) 流通時価総額増大の基本的な考え方

4

$$\text{流通株式時価総額} = \text{当期純利益} \times \text{PER (株価収益率)} \times \text{流通株式比率}$$

当期純利益

⇒

当期純利益実額を増やす。

PER
(株価収益率)

⇒

投下資本の生産性向上、株主還元施策、IR・情報開示の充実等によりPER (=期待値) を引き上げる。

流通株式比率

⇒

流通株式比率は基準値対比上回っており、積極的対策はとらないが、政策投資株の見直し、自己株式の有効活用等は検討する。

3. 中期経営計画の計画数値見直し

- ◆ 22/3期の業績予想修正（11月12日）に伴い、本計画書上の「**中期経営計画 ローリングプラン FY2021～FY2023**」の計画数値を以下に修正。（下表の**赤字**が修正箇所。括弧内は当初計画比。）
- ◆ 中期経営計画は毎年ローリングし、22/3期決算後に新ローリングプラン（3ヶ年計画）を開示する予定であるため、22/3期の業績予想修正に際し、本計画書では23/3期と24/3期に関しては、一旦、売上計画を据え置いたうえで、利益率の実勢を鑑み、23/3期の利益計画のみを修正。

中期経営計画 ローリングプラン FY2021～FY2023

今期

（百万円）

| | 当初計画 | | | 修正計画 | | |
|-----------------|--------|--------|--------|---------------------------|------------------------|--------|
| | 22/3期 | 23/3期 | 24/3期 | 22/3期 | 23/3期 | 24/3期 |
| 売上高 | 18,500 | 20,000 | 22,000 | 19,656 (+1,156) | 20,000 | 22,000 |
| 営業利益 | 1,600 | 1,800 | 2,100 | 1,852 (+252) | 1,900 (+100) | 2,100 |
| 同率 (%) | 8.6 | 9.0 | 9.5 | 9.4 (+0.8) | 9.5 (+0.5) | 9.5 |
| 経常利益 | 1,600 | 1,800 | 2,100 | 1,856 (+256) | 1,900 (+100) | 2,100 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,060 | 1,200 | 1,400 | 1,200 (+140) | 1,250 (+50) | 1,400 |

4. 当期純利益実額の増大

(1) 中期経営計画（修正後）の当期純利益計画



(2) PER（株価収益率）からの流通時価総額期待値

◆ 中期経営計画（修正後）の当期純利益計画に基づき、PERから流通時価総額期待値を試算

$$\text{流通株式時価総額} = \text{当期純利益} \times \text{PER (倍)} \times \text{流通株式比率 (見込数値68.2\%)}$$

| (※)予想PER | | 22/3期予想ベース 流通時価総額期待値 | | 23/3期計画ベース 流通時価総額期待値 | | 24/3期計画ベース 流通時価総額期待値 | |
|-----------|------|-------------------------|---|-------------------------|---|-------------------------|---|
| 基準月 3ヶ月平均 | 11.2 | 91億円 | × | 95億円 | × | 106億円 | ○ |
| 直近 1年平均 | 11.9 | 97億円 | × | 101億円 | ○ | 113億円 | ○ |
| 直近 5年平均 | 13.0 | 106億円 | ○ | 110億円 | ○ | 124億円 | ○ |

必要PER = 12.3

必要PER = 11.8

必要PER = 10.5

(※)予想PER

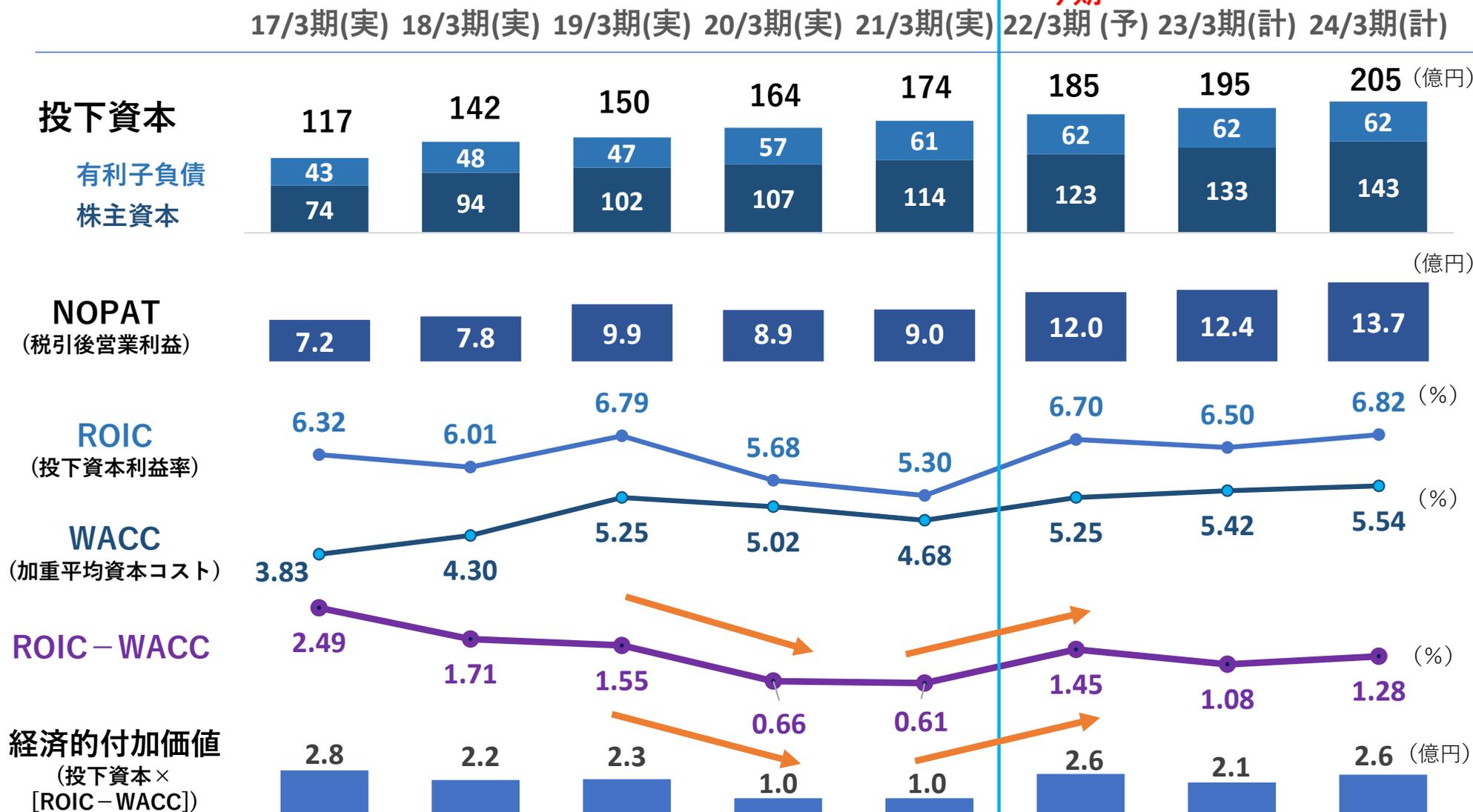
基準月 3ヶ月平均：2021年4月～6月毎日の平均、直近1年平均：2020年10月～2021年9月の月末平均、直近5年平均：2016年10月～2021年9月の月末平均

5. 投下資本の生産性向上

(1) 投下資本生産性 実績・計画

～ ROIC-WACC、経済的付加価値はボトムから回復へ～

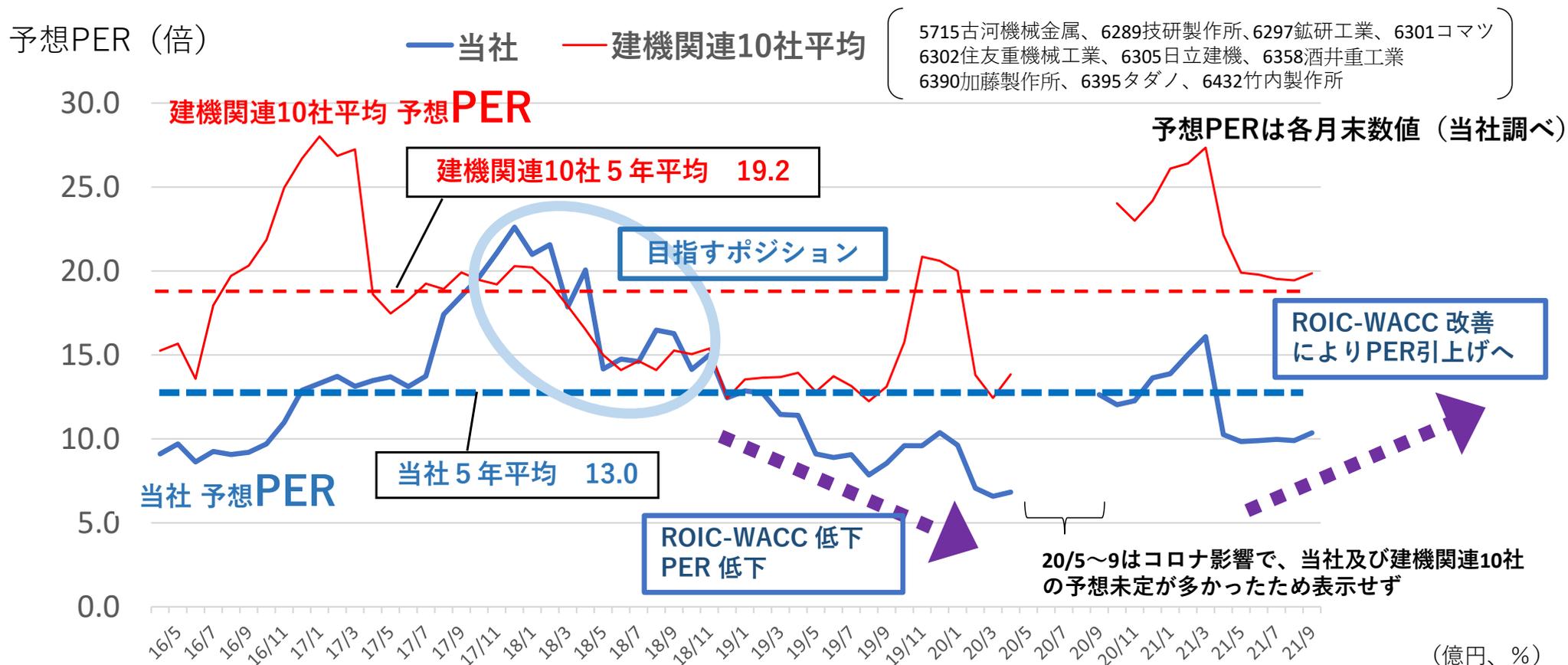
中期経営計画 ローリングプラン
今期



※当社試算ベース (各数値算出の前提は (参考3) 参考情報をご参考ください。)

5. 投下資本の生産性向上

(2) P E R と資本生産性の相関 ~資本生産性向上によるP E R引き上げを期待~

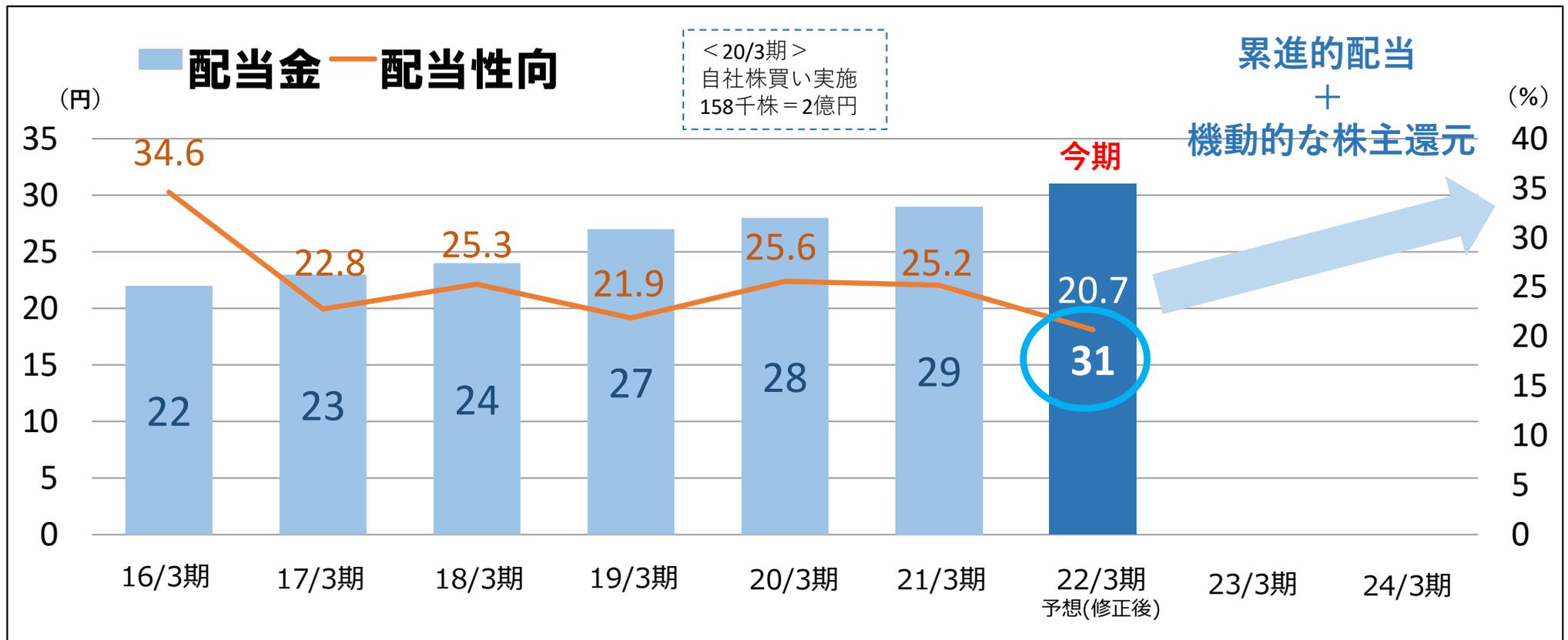


| | 17/3期 実績 | 18/3期 実績 | 19/3期 実績 | 20/3期 実績 | 21/3期 実績 | 22/3期 予想 | 23/3期 計画 | 24/3期 計画 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 売上高 | 131 | 153 | 178 | 179 | 175 | 196 | 200 | 220 |
| 経常利益 | 10.9 | 12.7 | 15.6 | 13.4 | 14.3 | 18.5 | 19.0 | 21.0 |
| 当期純利益 | 6.9 | 6.6 | 10.0 | 8.8 | 9.1 | 12.0 | 12.5 | 14.0 |
| 投下資本 | 117 | 142 | 150 | 164 | 174 | 185 | 195 | 205 |
| ROIC-WACC | 2.49 | 1.71 | 1.55 | 0.66 | 0.61 | 1.45 | 1.08 | 1.28 |

6. 累進的且つ機動的な株主還元の実施

株主還元方針

- ① 中長期の安定成長に基づき、目線である配当性向30%と成長投資配分を考慮しつつ、増配を継続していく **累進的配当方針**。 ⇒ 22/3期で**12期連続増配**の見込み
- ② 併せて、株価の推移や利益・投資計画の進捗状況を考慮し、**機動的な株主還元**を実施。
- ③ **株主優待制度**は知名度向上と中長期的な投資層拡大のために必要な施策と位置づけ。



(1) I R と情報開示の充実

① 株主様・投資家様・アナリスト様との対話の充実

I R チームの活動本格化による対話回数の増加・対話内容の充実を図る。
 (四半期毎の決算説明会、1 on 1 ミーティング、スモールミーティング等)

② 英文情報開示の充実

現状の英文情報開示（決算短信サマリー、中長期経営計画、決算説明資料）に加えて、2022年6月開催の株主総会から招集通知の英文開示を開始予定。

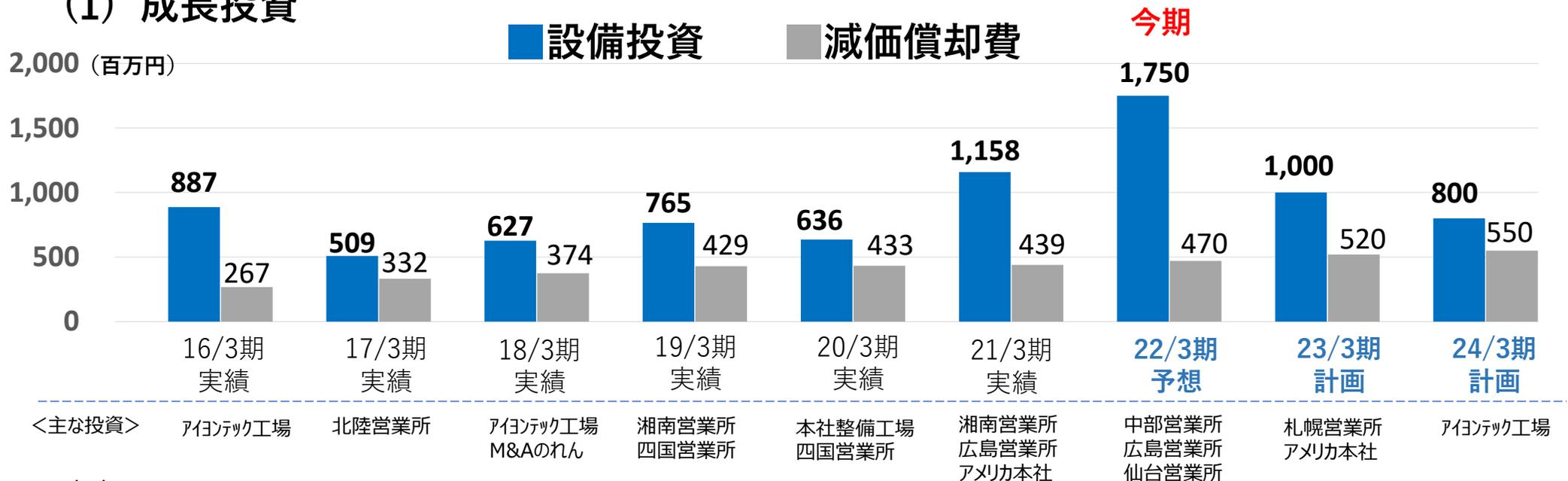
(2) E S G ・サステナビリティへの取組強化

重要課題（マテリアリティ）とK P I 設定

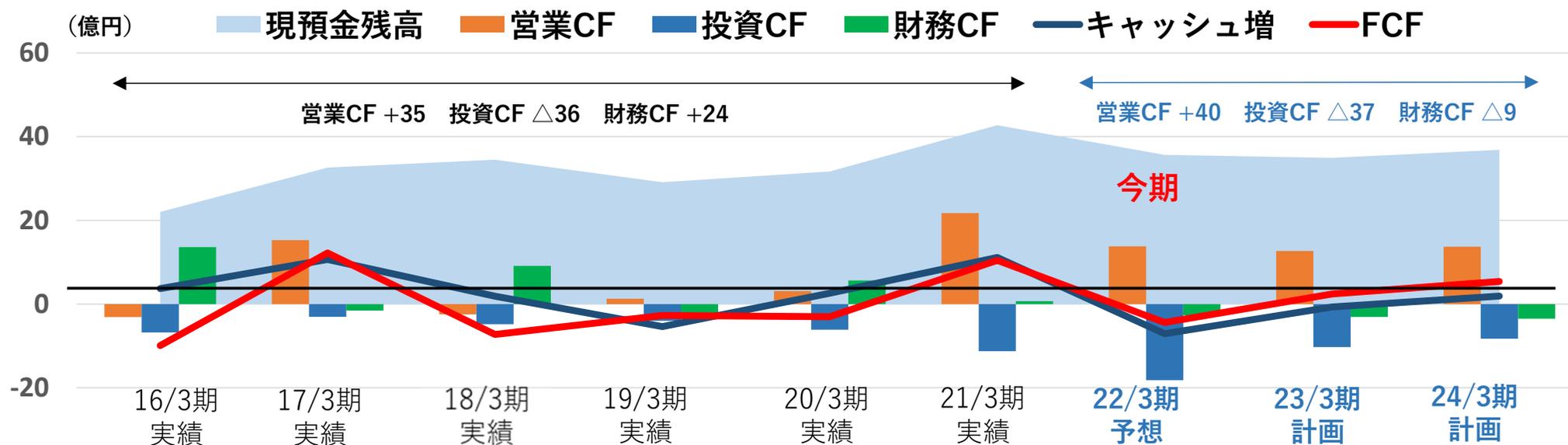
中長期経営計画に沿った重要課題に対し、K P I を設定し進捗を開示予定。

| 重要課題（マテリアリティ） | 貢献するSDGs |
|----------------------|---|
| ① カーボンニュートラルの実現 |   |
| ② 社会におけるリサイクルシステム支援 |   |
| ③ 山地・森林資源の保全と有効活用の実現 |   |
| ④ 働き方改革やダイバーシティ等の実現 |   |

(1) 成長投資



(2) キャッシュフロー



VISION30 ステートメント

スローガン

人は**環境**をつくる

価値観

【社風】個人尊重・自由奔放・一体感のある社風
【ビジネス】ユーザーに寄り添った商品・サービスの提供
【社会性】環境問題などの社会課題の解決につながる事業拡大

環境に流されずに環境づくりができる人材を育成し、
事業を通じて環境にやさしい社会の実現に貢献する。

VISION30 業績評価指標(KPI)

トリプル

3

| | |
|------|---------|
| 売上高 | 300億円以上 |
| 営業利益 | 30億円以上 |
| 時価総額 | 300億円以上 |

トリプル

10

| | |
|----------|-------|
| 売上高伸び率 | 10%以上 |
| 売上高営業利益率 | 10%以上 |
| ROE | 10%以上 |

ESG経営の実践

VISION30の達成

目指す姿

Go To The Next Stage

ONE

国内ダントツ
No. **1**

世界Tier
1

ONLY
1

1
TEAM

ALL FOR
1
GOAL

● VISION30 3つの戦略

| | | |
|---------|--|---|
| 人材戦略 | <ul style="list-style-type: none"> ① 人づくり ② 人事制度 ③ 働き方改革 | 人材の採用・育成・活用 実績・貢献を反映した公明正大な評価・報酬制度 働きやすい・働きたくなる・働きがいのある職場づくり |
| マーケット戦略 | <ul style="list-style-type: none"> ① 国内戦略 ② 海外戦略 ③ 新規事業 | 需要拡大に対応した一気通貫バリューチェーンの強化 米・欧・アジアの3拠点への商材・戦力投入による市場開拓 新技術応用(新解体工法、DX等)と戦略的M&Aの推進 |
| 経営基盤強化 | <ul style="list-style-type: none"> ① CG体制 ② ハード・ウェア ③ ソフト・ウェア | 持続的成長を支えるガバナンス体制の構築 国内・海外の工場・営業拠点の整備(増設・新築) システムインフラの整備とDXによる業務改革・顧客対応力進化 |

● 中期経営計画 ローリングプラン FY2021~FY2023

| | | | | |
|-------------------------|---------------------|-----------|---|----------|
| 2023年度の 経営目標 | 業績計画 (24/3期) | | 投資計画 (22/3期~24/3期累計) | |
| | 売上高 | 22,000百万円 | 設備投資 | 3,550百万円 |
| | 営業利益 | 2,100百万円 | 研究開発費 | 660百万円 |
| | 売上高伸び率(前年比) | 10.0% | <主な設備投資(予定)> | |
| | 売上高営業利益率 | 9.5% | 広島営業所、中部営業所、仙台営業所、 札幌営業所、盛岡営業所、 オカダアメリカ本社、アイオンテック工場 | |
| | ROE | 10.2% | | |

(1) 投下資本生産性実績・計画策定の前提

① 株主資本コスト

株主資本コスト = リスクフリーレート + リスクプレミアム × β (ベータ) 【採取期間 = リスクプレミアム：1960年以降、 β ：2年間】

| | 17/3期末 | 18/3期末 | 19/3期末 | 20/3期末 | 21/3期末 | 22/3期以降(*) |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|------------|
| 株主資本コスト | 5.9% | 6.1% | 7.3% | 7.7% | 7.5% | 7.7% |
| リスクフリーレート | 0.23% | 0.09% | 0.07% | 0.04% | 0.04% | - |
| リスクプレミアム | 5.97% | 6.25% | 5.87% | 6.08% | 6.10% | - |
| β (ベータ) | 0.95 | 0.97 | 1.24 | 1.26 | 1.22 | - |

(*) 22/3期以降は過去5年間で最も高い資本コストを適用

② NOPAT (税引後営業利益)

NOPAT = 営業利益 × (1 - 実効税率) 【実効税率 = 35%に固定】

③ ROIC (投下資本利益率)

ROIC = NOPAT / 投下資本 (デット + エクイティ) 【デット = 簿価ベース、エクイティ = 簿価ベース】

④ WACC (加重平均資本コスト)

WACC = 負債コスト × (1 - 実効税率) × デット / (デット + エクイティ) + 株主資本コスト × エクイティ / (デット + エクイティ)

【デット = 簿価ベース、エクイティ = 株式時価ベース、22/3期以降の株価は基準月3ヶ月平均の予想PER = 11.2で試算】

(2) 中長期経営計画 資料参照

長期ビジョン **VISION30** & 中期経営計画 **ローリングプラン** **FY2021~FY2023**

日本語 (Japanese) <https://www.aiyon.co.jp/assets/pdf/medium-and-long-term-management-plan.pdf>

英語 (English) <https://www.aiyon.co.jp/wp-content/uploads/2021/08/cbbf03897f1ae17f1e37062281fb7c12.pdf>

本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容については、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約、あるいは保証するものではありません。

(お問い合わせ先)

オカダアイオン株式会社 管理本部 / 経営企画室

TEL 06-6576-1271 FAX 06-6576-1270

URL <http://www.aiyon.co.jp/>